

## 会 議 概 要

会議の名称	平成27年度戸田市外部評価ヒアリング（健康づくり体制の推進）																																							
開催日時	平成27年11月5日（木） 9時30分 ～ 10時40分																																							
開催場所	5階 大会議室B																																							
出席者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td>委 員 長</td> <td>佐藤 徹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副 委 員 長</td> <td>長野 基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委 員</td> <td>引地 智宏</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>澁谷 久美子</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>地崎 由美子</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>西澤 和良</td> </tr> <tr> <td>福祉保健センター</td> <td>所長</td> <td>久川 理恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>課長</td> <td>小槻 節子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>課長</td> <td>山田 徳治</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主幹</td> <td>渡辺 純子</td> </tr> <tr> <td>市民生活部</td> <td>次長</td> <td>安部 孝良</td> </tr> <tr> <td>防犯くらし交通課</td> <td>課長</td> <td>佐々木 敏典</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主幹</td> <td>細井 高行</td> </tr> </table>		委 員 長	佐藤 徹		副 委 員 長	長野 基		委 員	引地 智宏			澁谷 久美子			地崎 由美子			西澤 和良	福祉保健センター	所長	久川 理恵		課長	小槻 節子		課長	山田 徳治		主幹	渡辺 純子	市民生活部	次長	安部 孝良	防犯くらし交通課	課長	佐々木 敏典		主幹	細井 高行
	委 員 長	佐藤 徹																																						
	副 委 員 長	長野 基																																						
	委 員	引地 智宏																																						
		澁谷 久美子																																						
		地崎 由美子																																						
		西澤 和良																																						
福祉保健センター	所長	久川 理恵																																						
	課長	小槻 節子																																						
	課長	山田 徳治																																						
	主幹	渡辺 純子																																						
市民生活部	次長	安部 孝良																																						
防犯くらし交通課	課長	佐々木 敏典																																						
	主幹	細井 高行																																						
事務局	経営企画課 早川課長 町田副主幹 吉田主事																																							
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 外部評価委員紹介</li> <li>3 対象部局あいさつ</li> <li>4 外部評価ヒアリング</li> <li>5 閉会</li> </ol>																																							
会議の経過	別紙のとおり																																							
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度施策評価シート</li> <li>・平成27年度事務事業評価シート</li> <li>・外部評価ヒアリング事前質問(回答)</li> </ul>																																							

議事内容	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 外部評価委員紹介</p> <p>3 対象部局あいさつ</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>●施策17 健康づくり体制の推進</p>
委員長	<p>○「事務事業の妥当性」について</p> <p>それでは、「事務事業の妥当性」について、質問させていただく。          施策の名称が「健康づくり体制の推進」とあり、施策の目的に「仕組みをつくる」とあるが、健康づくり体制は、どのように推進されているのか。          また、体制を推進することによって、どのような成果を求めているのか。</p>
担当者	<p>本施策の仕組みについては、今年度から導入された公共施設の予約システムが最近の代表的なものとして挙げられる。本システムを導入し、公共施設を利用しやすくすることで、健康づくりに取り組む市民が増えると考えている。          本施策は、健康づくりの仕組みを作ることで、主体的に健康づくりに取り組む市民が増えるなど間接的に成果が生まれるものである。</p>
委員	<p>公共施設の予約システム以外の体制の推進には何があるのか。</p>
担当者	<p>地域保健推進事業において、ガン検診や予防接種の周知を効率的に行えるようなシステムを導入する等している。</p>
委員	<p>施策の目的の中の「元気」の定義とは何か。</p>
担当者	<p>病気を抱えている人が元気ではないというわけではなく、病気を抱えながら元気に暮らせる人もいるため、「元気」という定義を端的に示すことは困難である。          したがって、定義といった視点ではなく、抽象的な概念として総合的に判断する必要がある。</p>
委員	<p>主体的な健康観の上昇ということか。</p>
担当者	<p>それも一つの解釈である。</p>

委 員	主観的な健康観の上昇と仮定した場合、施策の主な取り組みの「市民団体の育成や活動のネットワークづくり」がどのような効果があるのか。
担当者	市民団体の育成や活動のネットワークづくりをすることによって、自ら学び、行動できる市民が増え、主体的な健康観の上昇にもつながる。
委 員	健康福祉まつりなどは、市民団体の育成等に該当すると思うが、NPOや市民活動団体等の増加について、確認しているのか。
担当者	福祉保健センターに関わりのある団体等については、新たに設置された団体数の増加を確認しているところであるが、関わりの無い団体については、把握できていない状況である。
委 員	「施策の指標における成果（主な指標）」で団体数の増加等を設定してみてもどうか。
担当者	当初、団体数を主な指標として取り入れることを検討したところであるが、団体数だけに限定していいのか、市民全体を対象として考えていくことが必要ではないかとの考えがあった。その結果として、市民が主体的に健康づくりを行うことを確認できる市民が企画した健康づくり事業の数を設定した。
委 員	この施策の中に保養施設に関する事業があるが、この施設はファシリティマネジメントの対象としているのか。対象としている場合の検討状況はいかがか。
担当者	保養施設については、維持、修繕、施設の稼働率、運営を検討していくことが必要であり、ファシリティマネジメントの対象としている。 現在、検討に入る前の準備段階である。
委 員	保養施設の耐震化はされているのか。
担当者	耐震化している。
委 員	これまでの話を統合すると本施策は成果で見るということはできないのではないか。
事務局	本施策は成果として見えにくい部分が多くあるが、地域の人が活動等に積極的に参加するようになる等は成果として考えることができる。 なお、事務局としても分かりやすい成果・指標づくりに取り組みたい。

委員	公共施設の予約システムが導入されたことに伴いどのような効果があったか。
担当者	これまでは直接的な問合せであったため、他の施設の空き状況をその場で確認できない状況であったが、公共施設の予約システムが導入できたため、他の空き施設も併せて照会できるようになっており、利用団体の増加に結びついていると考えている。
委員	実際に増加した数字はどの程度か。
担当者	平成27年6月からのシステムの稼働となっているため、正確な数字を把握しているわけではない。 なお、約1割程度は増加していると実感している。
委員	様々な地域活動に関わってきたが、地域活動に参加されるのは、限られた地域の人だけとなっている。これまで参加されてこなかった人に対して、どのように働きかけていくのか。
担当者	教育委員会などの他部局による連携を行い、福祉保健センターだけで取り組むのではなく、市全体として市民に対してPRしていきたい。
委員長	○「施策の進捗状況」について 続いて、「施策の進捗状況」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。
委員	仕組みづくりの観点から、個人や世帯を対象としたアンケート調査を過去に実施したことはあるのか。また、実施している場合は、その結果を分析しているか。
担当者	健康増進計画の策定の際に市民アンケートを実施していることに加え、食育推進計画でも市民アンケートを実施している。 分析については、若い男性の健康度合いが悪いとの結果が出ている。さらに、その中でも、国民健康保険加入者においては、より顕著にその傾向が出ているが、その原因までは分析できていない。 しかしながら、市民アンケートの結果として、メインターゲットを若い男性と設定することができた。 また、若い男性だけに限ることなく、小中学生などの小さい頃からの教育が重要であると考えているので、教育委員会との連携が必要であると感じている。
委員	市民アンケートの分析において、健康づくりへの意識の改善などをみることはできたのか。

担当者	健康への意識という漠然としたアンケートを実施しているわけではないので、明確な改善については不明であるが、喫煙率は確実に減少している。また、食育に関する意識については、確実に上昇していることが分かる。
委員	市民アンケートの結果等によって、事業内容の変更は行っているのか。
担当者	市民アンケートの結果によって、事業内容への反映を務めているところであるが、大幅な変更には至っていない。
委員長	課題の中に「庁内の横断的な取り組み体制」と記載があり、この取組として、事前質問の回答の中にある健康なまちづくり庁内推進会議が該当すると考えるが、この庁内推進会議の目的は何か。 また、本会議はいつから開催されており、なぜ「庁内の横断的な取り組み体制」が活発ではないのか。
担当者	健康なまちづくり庁内推進会議は平成26年度から設置しており、健康づくりを福祉部局だけで行っていくものではないことに起因している。 健康づくりには、歩きたくなるまちづくりといった安全な道路整備などのまちづくりの観点が必要となる。 しかしながら、健康づくりはまちづくりからといった視点があまり重視されてこなかった。そのため、庁内推進会議を設置した目的は、健康づくりを市全体として取り組む事項であるという意識付けを行うためである。
委員	結果と今後の方向性が上矢印となっているが、これの原因は何か。
担当者	人員については、現状維持であるが、保養施設の設備改修に多額の予算が必要となるため、便宜的に上矢印としている。 なお、他の事業については、現状維持である。
委員長	○「資源の方向性」及び「その他意見」について 続いて、「資源の方向性」について、質問させていただく。 また、時間も少なくなってきているので同時に「その他意見」についても質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。
委員	指標について、健康福祉まつりの来場者数が仮に700人から800人に増加したとして、施策の目的を達成していると言えるのか。また、目標値の800人については、何を根拠としたのか。

担当者	<p>健康福祉まつりは体験をメインとした祭りであり、体験を通して、健康意識の増加を図ることができると考えている。</p> <p>目標値の800人については、これまでの健康福祉まつりの来場者数を参考に設定している。</p>
委員	<p>課題の中で「企業と事業の連携体制が弱い。」との記載があるが、現在、行っている取組はどのようなものか。</p>
担当者	<p>市として行っているイベントに記念品の提供や健康に関する講座の講師をお願いする方法で連携している。</p>
委員	<p>企業のCSRという観点から、市内企業が健康づくりに取り組むような働きかけを実施してみてはいかがか。</p>
担当者	<p>検討したい。</p>
委員	<p>健康福祉まつりにおいて、協働の要素をどのように取り入れているのか。</p>
担当者	<p>参加団体が健康福祉まつりで活動しやすいよう、参加団体の自主性を阻害しないように心掛けている。</p>
委員長	<p>以上で外部評価ヒアリングを終了とする。</p>
	<p>5 閉会</p>